

令和6年度NGO研究会
「NGOと企業のパートナーシップ」
調査報告

1. 調査概要
2. これまでの連携
3. これからの連携
4. 連携が深まった事例
5. 中間支援組織に求めること

調査目的：

これまでの連携実態を把握するとともに、今後の連携に向けた意識やニーズ、課題、連携の裾野を広げるために必要な機能や役割を明らかにする。

ヒアリング調査

期 間：2024年4月15日 ～ 現在

対象者：NGO + 企業 + 中間支援組織 (NGOと企業の連携を促進する組織)

アンケート調査

期 間：2024年9月30日 ～ 11月8日

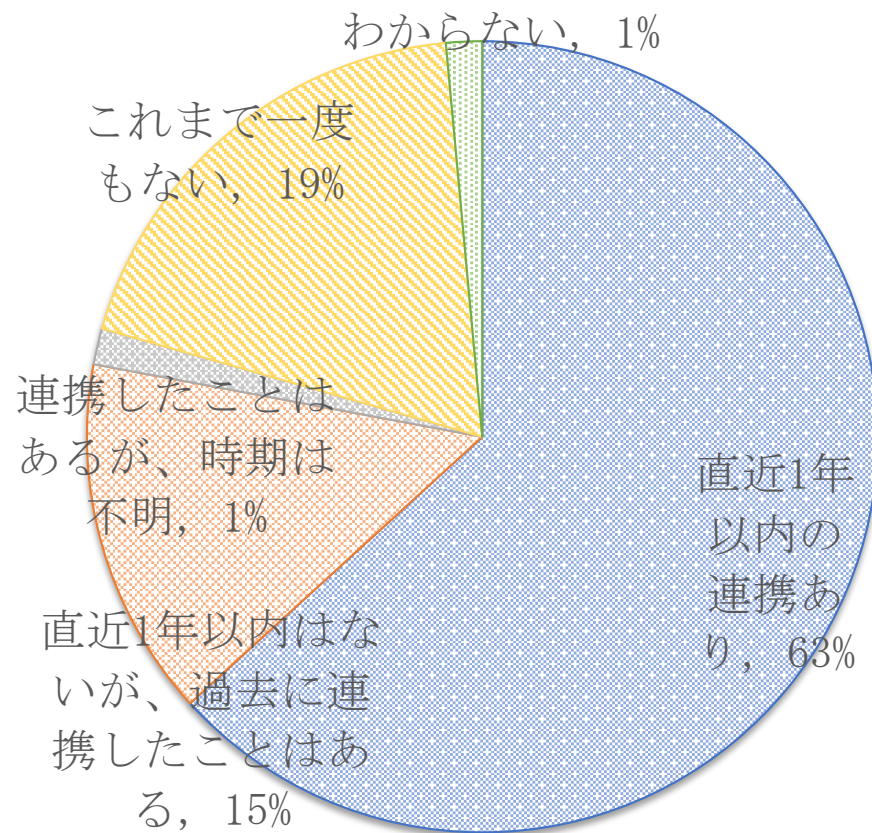
対象者：NGO + 企業 + 中間支援組織

回 収：NGO 82団体 企業 28社 中間支援組織 5団体

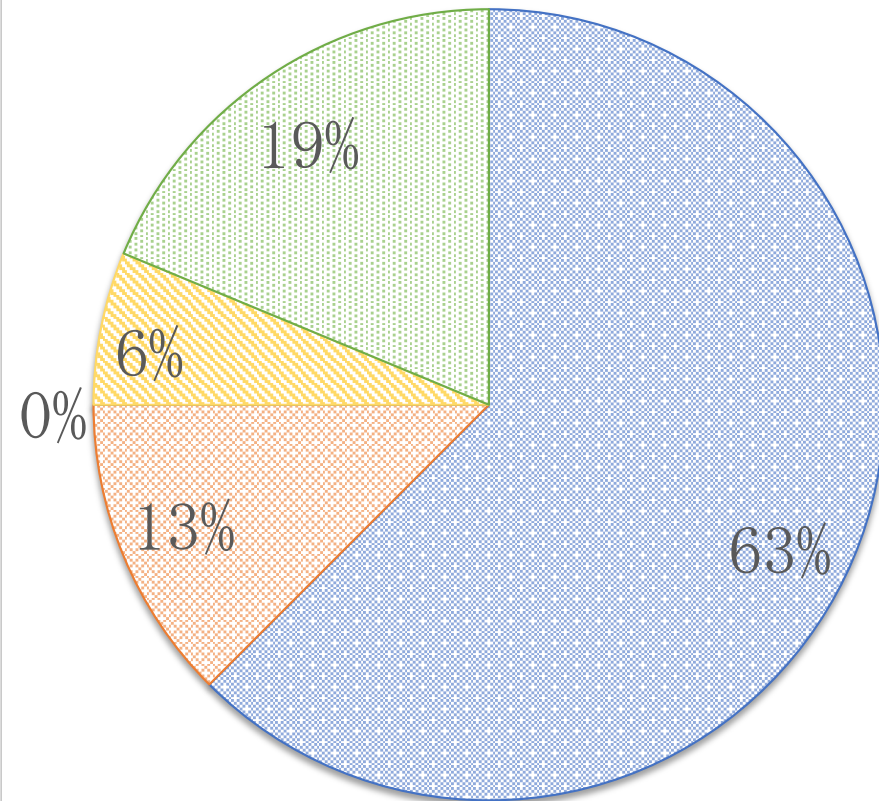
2. これまでの連携 - 連携実績 -

連携とは

金銭・物品寄付、製品・サービス、施設等の提供、
ボランティアやプロボノの受入・派遣、協働事業の実施など

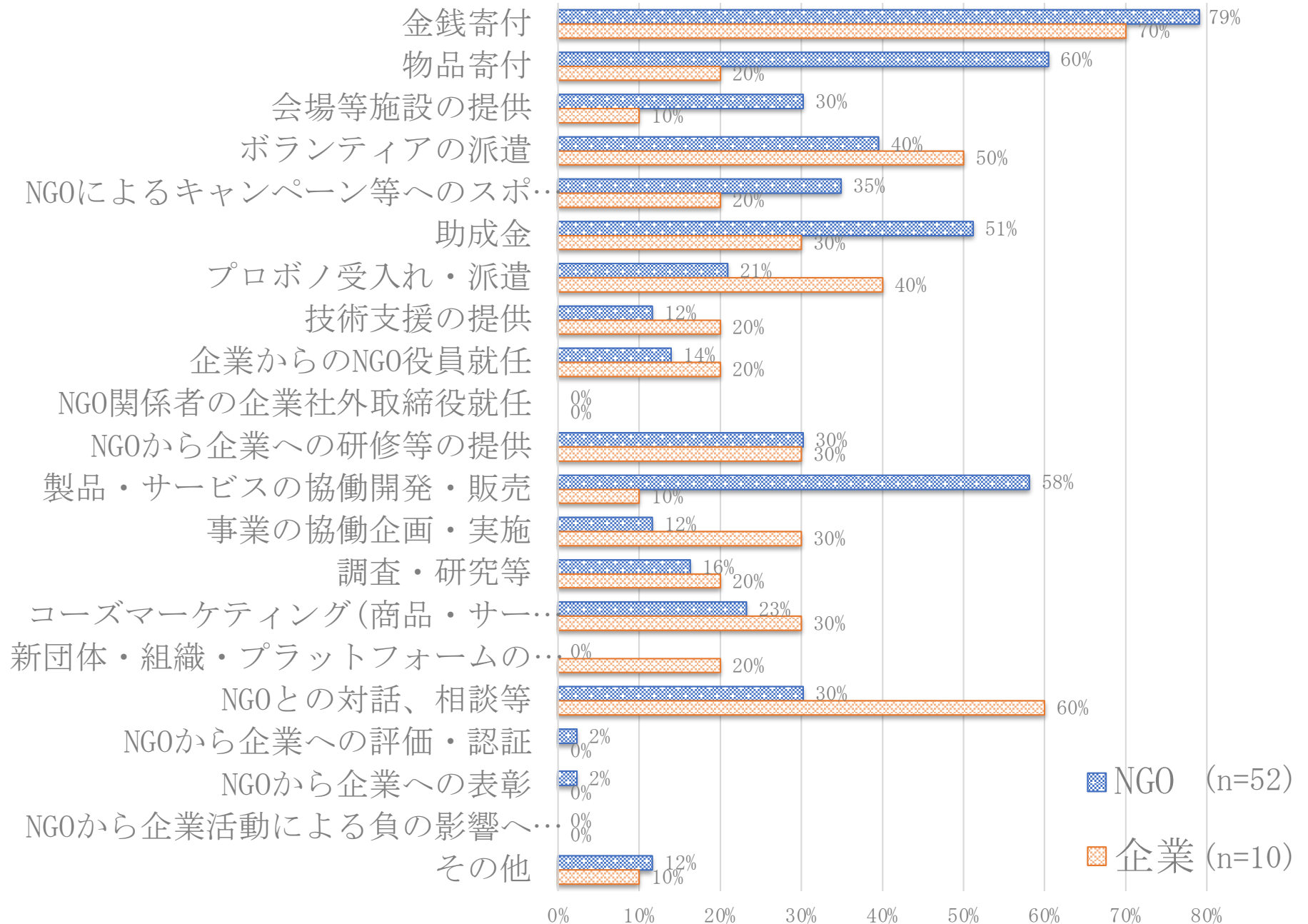


NGO (n=62団体)

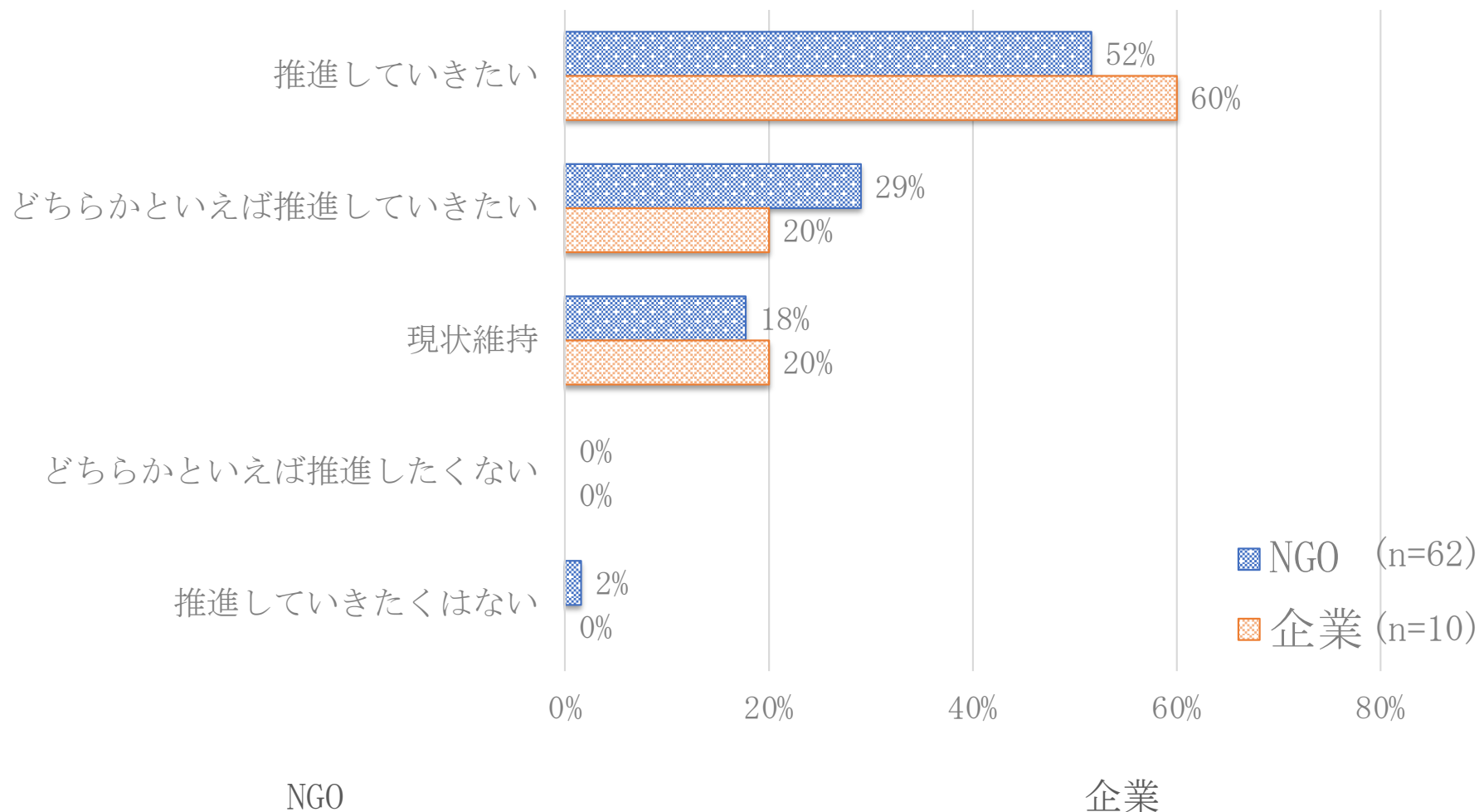


企業 (n=16)

2. これまでの連携 - 連携内容(型) -



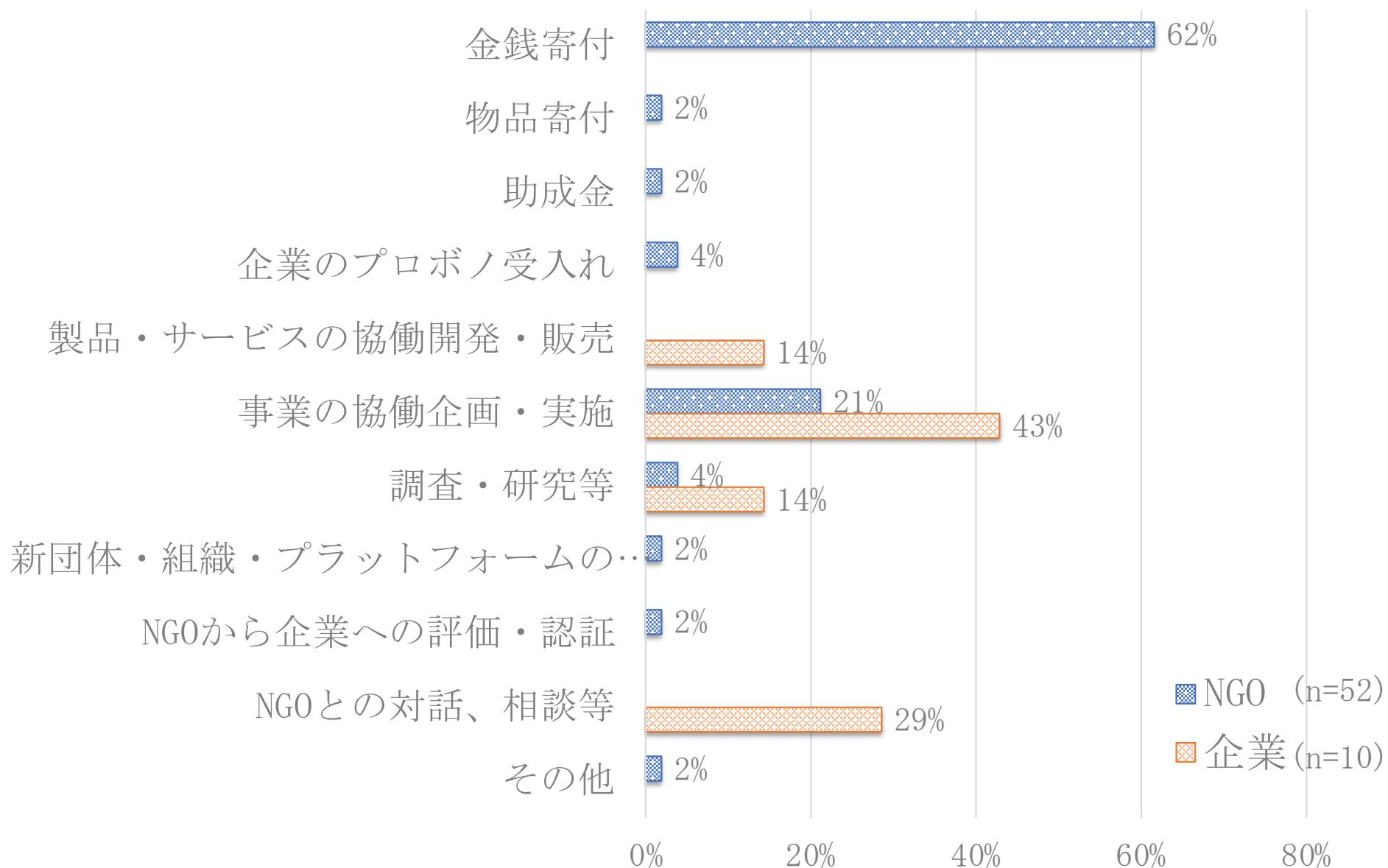
3. これからの連携 - 連携意欲とその理由 -



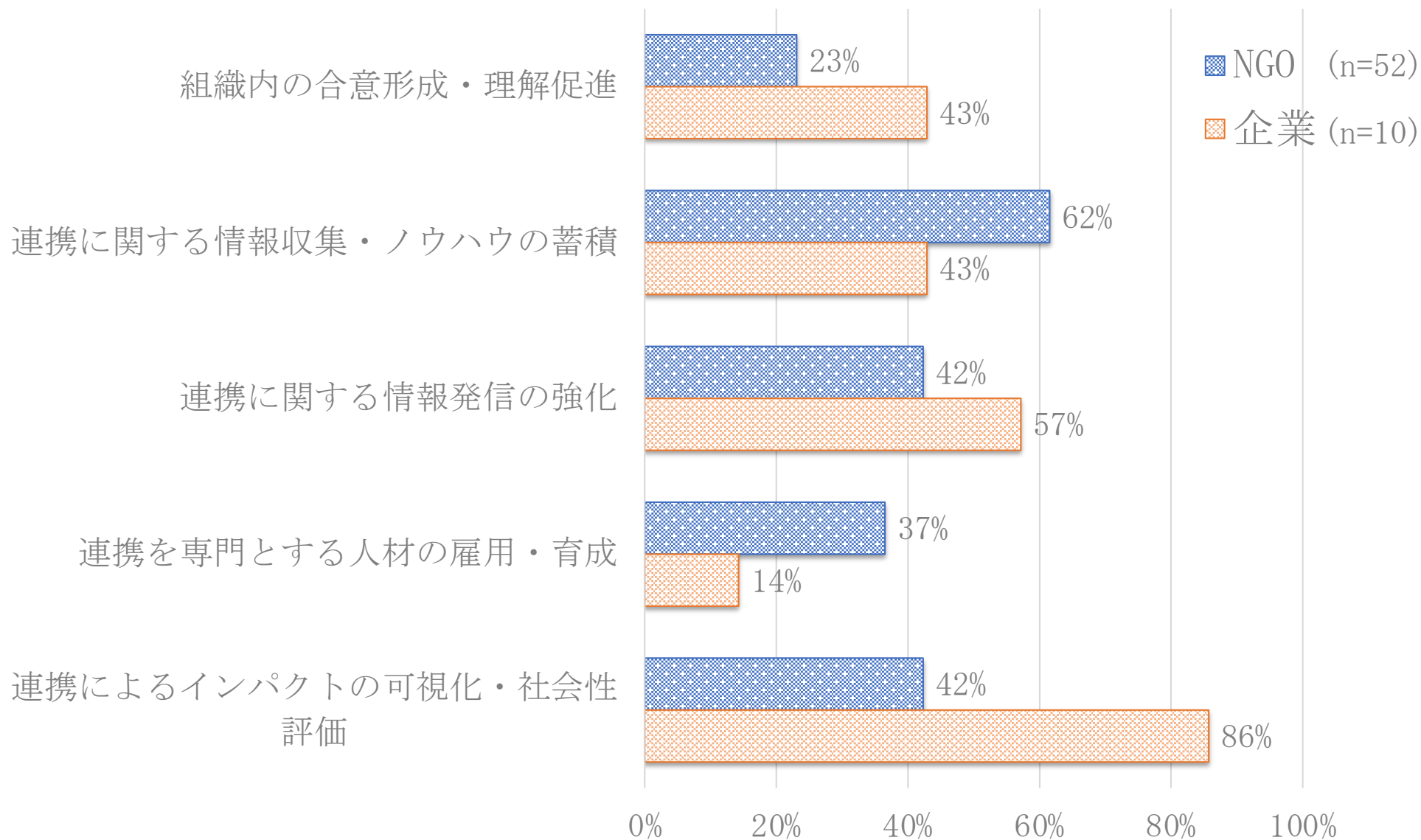
- NGOのみでは社会課題の解決が厳しくあらゆるセクターの行動変容が必要。
- ソーシャルインパクトを高めるため。
- 収益の多様化や人的リソース補強の必要性。

- 社会課題の解決に向けて、社会課題の最前線で活躍するNGOの知見、ネットワークが必要なため
- 社会貢献としても、ESGに配慮した事業を行うためにも、価値創出としても重要である。

3. これからの連携 - 最も推進したい連携内容(型)



3. これからの連携 - 組織内での取組み -



NGO

そもそもどこで出会う？

- ・どこで企業と知り合えるのか。

どうアプローチする？

- ・どう企業にアプローチしたらいいのか。
- ・企業のニーズをくみとることが難しい。
- ・企業のニーズありきではなく、現場のニーズを第一としたマッチングが課題。

どんな連携？

- ・資金援助以外にどんな連携がある？

組織内での課題

- ・理事会の中で、企業との連携に。慎重な意見を持つ人も少なくない。
- ・企業連携を実施体制。

企業

組織内への浸透

- ・社会課題の理解力を如何に高めていくか。

成果と成果の発信

- ・アウトカムをしっかりと出していくことができていない。
- ・成果をしっかりと伝えきれていない。

国内課題へ

- ・会社の方針で、注力する活動地域の割合は国内＞国外と。



【NGO】

- 団体の講演会に企業の社長が参加していたことで
- イベントで担当者同士が情報交換を行ったことで
- 中間支援組織の紹介（マッチング）がきっかけ
- 以前からお互いに知っていて、改めてアプローチしてみた
- 企業に勤める後輩を通じて 支援者からの紹介で
- 企業担当者の個人的なご寄付がきっかけ（インターネット検索）

【企業】

- 事業部門からの要望で、関連するNGOへ情報交換依頼をしたことで
- 創業〇周年を記念して、新たな（社会貢献）事業の開始をしたことで
- 強みを活かした社会貢献プログラムの提供をきっかけに

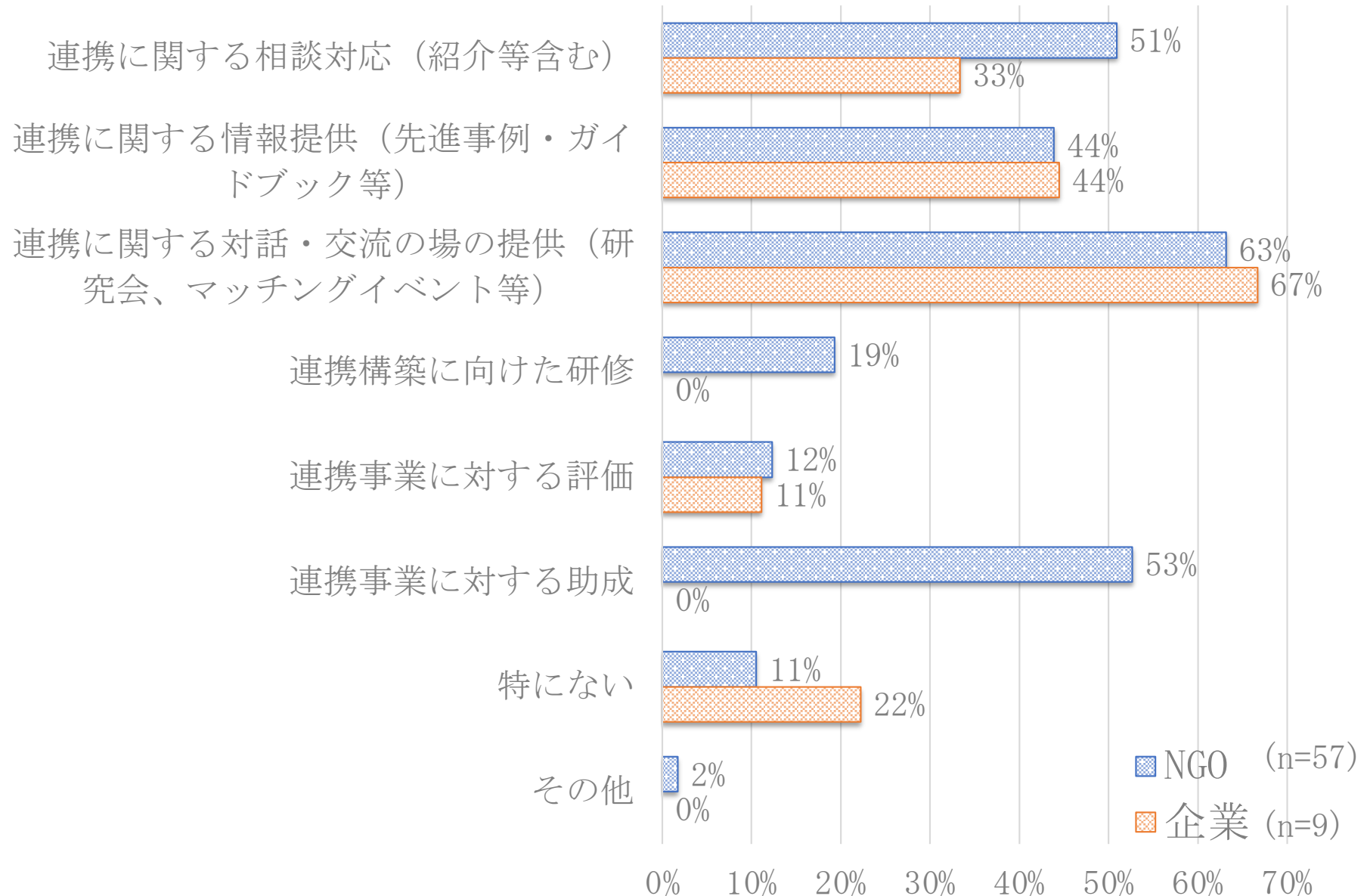
【NGO】

- お互いの理念や事業領域、専門領域が共通していたこと。
- 継続したコミュニケーションで一步一步信頼関係が深まってきた。
- （協働事業の中で）具体的な成果が出た。
- 事業の必要性やそれぞれの役割が明確となり、複期的な支援の必要性について合意ができたため。

【企業】

- コミュニケーションを通じて、ゴールに関する相互理解を深め、それぞれの役割をしっかりと果たしたことで信頼関係が構築されたこと。
- 定期的な情報交換やイベントに参加していたことで、信頼関係ができていたことに加え、双方の事業やリソース、担当者を理解しあっている状況であり、どちらからも相談しやすい関係が構築できていた。

5. 中間支援組織へ求めること





楯 晃次 (岐阜県・1992年生まれ)

研究分野：非営利組織のマネジメント 博士(学術)

実務：(株)EMA 代表取締役 / 共同創業者 (2021～)

「データ × 組織強化 × 連携」

外務省 / JICA / Panasonic / 東急エージェンシー / JANIC等

(株)GROW UP 共同創業者 / 戦略構築 (2021～)

「岐阜 × バスケット × まちづくり」

Bリーグチームへの販促商品販売 / イベント企画・運営

(一財)CSOネットワーク リサーチフェロー

講師：横浜市立大学、神奈川大学、放送大学